

くらいぬ

ItakoCityCouncilNews

全日本中学選手権競漕大会に向けた練習の様子
(潮来一中・目の出中ボート部)



審議議案と議決結果



会 期：6月3日～20日（18日間）

審議議案等：17件

（市長提出議案等：13件、議員発議：3件、請願：1件）

令和7年
第2回6月定例会

条例改正 1 件	
潮来市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決
補正予算 1 件	
令和7年度潮来市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
承認 2 件	
専決処分事項の承認を求めることについて（潮来市税条例の一部を改正する条例）	承認
専決処分事項の承認を求めることについて（潮来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
報告 8 件	
繰越明許費繰越計算書について（令和6年度一般会計）	報告
事故繰越し繰越計算書について（令和6年度一般会計）	報告
継続費繰越計算書について（令和6年度水道事業会計）	報告
繰越計算書について（令和6年度水道事業会計）	報告
継続費繰越計算書について（令和6年度下水道事業会計）	報告
繰越計算書について（令和6年度下水道事業会計）	報告
一般財団法人潮来市開発公社の経営状況について	報告
株式会社いたこの経営状況について	報告
同意 1 件	
潮来市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
議員発議 3 件	
潮来市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	否決
潮来市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	否決
中学校における学校給食費の無償化を求める意見書について	原案可決
請願 1 件	
地域医療の充実を求める意見書を茨城県と国に提出することを求める請願	不採択

▼賛否が分かれた案件

【発議第3号】潮来市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

○＝賛成 ×＝反対 ※16番小峰議員は、議長のため採決には加わりません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
結果	黒須俊行	鴛田正信	吉川利一	和田直子	佐々木徹	志村一	石田裕二	阿部慶介	兼平直紀	飯田幸弘	平田健三	箕輪昇	飯島康弘	田崎清	小沼英明	小峰進
否決	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	

提案内容

令和7年7月1日から令和8年6月30日まで、議員報酬月額を15%カットとする。

令和7年12月および令和8年6月の期末手当の額を15%カットとする。

提案理由

議員自らが、財源確保のために身を切る覚悟を示すべきであるという思いを伝え、その財源を市政運営のため、有意義に用いてもらうものである。

賛成意見

- ・緊縮財政であることに議員として責任を痛感しており、自らが身を切る覚悟が必要であるため
- ・市民も物価高騰の中で非常に苦しんでいる。そういった市民に寄り添うため
- ・令和6年度は各種団体の補助金を10%カットしている。また、今年度は敬老会補助金事業の廃止、日の出地区の側溝蓋かけ事業の廃止となった。市民サービスに非常に影響をきたしているため、この報酬削減で残った財源を市民サービスの向上に使っていただきたい。

反対意見

- ・議員報酬のような議員全員に関わる問題について、議員間で事前に十分な協議が行なわれていない。
- ・各種団体の補助金カットは一律カットではなく、団体によって違うと説明を受けている。
- ・予算案可決終了後、財源確保の勉強会を重ね、削減された事業等に対する提言等を提出している。議員報酬削減の検討はやることをやってからではないか。



紙面の都合上、同一趣旨の発言はまとめて掲載しています。
 討論の様子はQRコードからアクセスしてご覧ください。

▼賛否が分かれた案件

【発議第4号】潮来市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について

○＝賛成 ×＝反対 ※16番小峰議員は、議長のため採決には加わりません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
結果	黒須俊行	鴫田正信	吉川利一	和田直子	佐々木徹	志村一	石田裕二	阿部慶介	兼平直紀	飯田幸弘	平田健三	箕輪昇	飯島康弘	田崎清	小沼英明	小峰進
否決	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	

提案内容

令和7年7月1日から令和8年6月30日まで、市長、副市長および教育長の給料月額を15%カットとする。

令和7年12月および令和8年6月の市長、副市長および教育長の期末手当の額を15%カットとする。

提案理由

市長、副市長、教育長の三役自らが財源確保のために、議員とともに、身を切る覚悟を示すべきであるという思いを伝え、その財源を市政運営のため、有意義に用いてもらうものである。

賛成意見

- ・市長自らが責任を取って30%カットするなど、そのような意気込みを示さなければいけない立場であると考えするため
- ・議員と三役の報酬削減でできる約1500万円は、様々な使い道がある。議会が提案・提言で尽力して1500万円の効果があるのか。
- ・クリーンセンターでの火災があり、相当な被害額になってくる。ごみの運搬費もいつまでかかるか分からない。そういった時に、自らの考えを持って報酬カットをしていただきたい。

反対意見

- ・なぜ15%なのか、なぜ1年なのか、理由が不明確であるため
- ・三役の報酬カットは、議員から発議すべきではなく、三役自らが提案すべきであるため
- ・報酬カットを一方的に発議すると、懲罰的な印象を与え、行政全体のモチベーションが下がるため
- ・執行部から財政状況は安定的に運営できている状態と説明があり、報酬カットが財政対策として有効であるとは言い難いため

※紙面の都合上、同一趣旨の発言はまとめて掲載しています。

討論の様子はP3のQRコードからアクセスしてご覧ください。

▼賛否が分かれた案件

【請願第1号】地域医療の充実を求める意見書を茨城県と国に提出することを求める請願

○＝賛成 ×＝反対 ※16番小峰議員は、議長のため採決には加わりません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
結果	黒須俊行	鴫田正信	吉川利一	和田直子	佐々木徹	志村一	石田裕二	阿部慶介	兼平直紀	飯田幸弘	平田健三	箕輪昇	飯島康弘	田崎清	小沼英明	小峰進
不採択	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	

提案内容

国の医療費抑制政策により病床削減や医師不足が進み、地域医療体制が脆弱化している。茨城県、とくに鹿行地域では医療資源が乏しく、入院や救急対応が困難な状況が続く。誰もが必要な医療を受けられる体制の再構築が必要であることから、以下の4点について請願する。

- ① 鹿行地域で勤務する医師の確保と、地域に応じた運営体制への支援。
- ② 行方市営で行われる地域医療センターの夜間受け入れ体制の整備と、人員配置に対する支援。
- ③ なめがた地域医療センターの入院・手術機能の段階的な回復、病院機能の再建への財政支援。
- ④ 地域医療構想による病床削減方針を見直し、地域ニーズに合わせた拡充方向への転換。

賛成意見

- ・ 医療過疎が深刻な鹿行地域において、なめがた地域医療センターの維持・回復は住民の命に直結する重要課題であるため
- ・ 請願内容に多少の文言の不備があっても、趣旨は明確であり、医療体制の強化を国や県に求めることは妥当であるため

反対意見

- ・ 地域医療の充実には賛同するが、本請願内容には事実誤認や他市事業が含まれており、潮来市議会として責任を持って意見書を提出できる内容ではないため
- ・ 他市の事業内容については、判断材料が不十分であるため
- ・ 事実誤認については請願者も認め修正の意向を示しており、趣旨に基づいた再提出を促すべきであり、現段階では不採択が適当である。
- ・ 請願内容に事実誤認があり、請願者も認めている。議会として間違っている内容を採用してはいけない。今後潮来市議会は間違っている内容でも採択する議会となる。



紙面の都合上、同一趣旨の発言はまとめて掲載しています。
討論の様子はQRコードからアクセスしてご覧ください。

専決処分事項の承認を求めることについて（潮来市税条例の一部を改正する条例）

主な改正内容は、公示送達（※）の送達処理をインターネットで閲覧可能とすること、特定親族の追加に伴う、所得控除、申告義務等所要の整備を行うこと、軽自動車税種別割に新基準の原動機付自転車1種の追加、免許情報記録個人番号カード（マイナ免許証）の運用開始に伴う減免申請時の運転免許証の提示義務に係る規定等の整備、加熱式たばこに係る市たばこ税の課税標準の特例、その他項ずれ対応、文言整理等規定の整備。



（※）納税通知書などの書類を直接送ることができない場合や居所不明で郵送等ができない場合に、市役所の掲示板に一定期間掲示し、通知したとみなす送達（書類を送り届ける）方法。

専決処分事項の承認を求めることについて（潮来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

低所得者に係る国民健康保険税の軽減判定所得の基準額の見直しを行う。

軽減割合	基準額	
	令和6年度(改正前)	令和7年度(改正後)
7割	改正なし	改正なし
5割	295,000円	305,000円
2割	545,000円	560,000円



※詳しい計算方法は、
潮来市ホームページをご覧ください →



令和7年度潮来市一般会計補正予算（第1号）

歳入 寄附金 ふるさと寄附金 5,000万円

歳出 委託料 ふるさとづくり寄附金業務代行委託料 1,013万5千円

補助金 施設整備費等補助金 3,986万5千円
（ガバメントクラウドファンディング分）

鹿島アントラーズと連携して実施するクラウドファンディング型ふるさと納税による寄附金である。アントラーズアカデミーグラウンド施設の充実を図ることを目的に行うクラウドファウンド事業となっている。



©KASHIMA ANTLERS



一般通告質問

一般通告質問とは、議員が市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来に対する方針などに質問をしたり、報告や説明を求めることです。

吉川 利一 議員 P.8

- 1 あやめ祭りについて
- 2 なめがた地域医療センターについて
- 3 中学校統合について

田崎 清 議員 P.9

- 1 令和7年度潮来市PTA連絡協議会よりの教育行政要望について
- 2 ロッテマリーンズファームの誘致について
- 3 小中学校の統合計画について
- 4 前川拡幅工事について

平田 健三 議員 P.10

- 1 「ローイングセンター前」道路の交通安全対策を急げ
- 2 「大規模災害」の防災対策強化を！
- 3 「ネーミングライツ」(命名権)の取り組み推進を！
- 4 「粗大ごみ」の有効活用を！

志村 一 議員 P.11

- 1 高齢者タクシー利用料金助成事業について
- 2 誰もが気持ちよく使えるごみ集積所を目指して
- 3 9ヶ月後に迫った潮来一中と牛堀中の統合について

黒須 俊行 議員 P.12

- 1 コミュニティバスの本格運行について
- 2 デイサービスセンター白鳥の今後について
- 3 水田の給水用蛇口バルブの盗難について

石田 裕二 議員 P.13

- 1 来年には東関東自動車道路の開通が見込まれている
- 2 潮来インター周辺開発を問う
- 3 令和7年度の緊縮予算、各課の工事請負費の著しい削減は地元関連企業にとって死活問題

飯島 康弘 議員 P.14

- 1 自ら稼ぐ自治体について
- 2 文化・観光政策について

和田 直子 議員 P.15

- 1 学校統合における支援体制について
- 2 地域協働のまちづくりについて

佐々木 徹 議員 P.16

- 1 廃止になってしまった敬老会補助金事業
- 2 中学校の統合について
- 3 中学校の部活動について
- 4 日の出の交通事故多発交差点の安全対策について

小沼 英明 議員 P.17

- 1 令和7年2月4日に起きた潮来クリーンセンター火災のその後について
- 2 (仮称)潮来市総合運動公園あり方検討業務委託について
- 3 水郷いたこ大使ゆるキャラの「あやめ」について
- 4 あやめ3市の連携について

鴫田 正信 議員 P.18

- 1 潮来市の観光活性化について
- 2 市道(潮)1級1号線 古高の三差路から潮来カントリー倶楽部入口までの歩道上の街路樹について

阿部 慶介 議員 P.19

- 1 日の出5丁目危険交差点の早急な改善について
- 2 堤防決壊！その時に安全に避難出来るのか？
- 3 地域おこし協力隊で移動スーパーを行って？

兼平 直紀 議員 P.20

- 1 不妊治療助成事業の復活について
- 2 土手や堤防の草刈り後の残渣について
- 3 潮来市の教育環境の未来について

数字の横に「➤」が付いていないものは、紙面の都合上掲載できませんでした。
8ページから20ページにありますQRコード(議員氏名隣)を読み取ると、映像で視聴いただけますので、ぜひご覧ください。

一般通告質問 気になるQ&A

なめがた地域医療センターについて

問 現在、なめがた地域医療センターを運営するJA茨城県厚生連が、同センターの不動産の一部を行方市に無償譲渡し、それを行方市が新庁舎に改装する計画が持ち上がっている。同センターの設立に際し、潮来市も約3.4億円出資している。市は行方市よりどのような説明をうけたのか。

厚生連が行方市に不動産を無償譲渡するならば、潮来、銚田にも何らかのものを提供する道義的責任があると思われるが、現在潮来市民が満足するようなものは提供されていない。市は厚生連に何も求めないのか。

答 村田市民福祉部長

本案件については、令和7年4月30日に行方市担当課より進捗状況の説明を受けている。厚生連からの資産譲渡については、今後協議を行うと聞いている。

市として、厚生連に対して

は現行の外来診療を維持してもらいたいと考えている。

再問 説明を受けたという令和7年4月30日の前に、行方市は本案件を3回議会にかけ測量もしている。4月30日より前に説明があったのではないか。

答 村田市民福祉部長

本年2月にも説明は受けているが、改めて4月30日にその後の進捗について説明を受けた。

再々問 令和3年9月に潮来市副市長と行方市、厚生連が会議をした、さらに令和7年2月には2回目の会議をしたという話がある。潮来市は会議があつた時点で病院を壊して庁舎にすることを認めていたのではないか。

答 庄司副市長

会議は2回とも開いていない。3者で一緒に話し合いをしたこともない。2月に厚生連、行方市より話は受けているが、病院を壊すという提案

はなかった。

問 旧行方郡5町村の共同出資を受けて建てられた病院、その不動産を厚生連が行方市に譲渡する行為に市はなんらかの意思表示をしたか。

答 村田市民福祉部長

行方市でも建設や無償譲渡については、協議中と聞いているので、市としても行方市の状況を見ながら協議を進めていきたい。

再問 行方市はすでに測量なども進めている。約3.4億円を出資している潮来市として、病院、救命救急センターを壊し、庁舎にするというのを認めて良いのか。新庁舎建設には他の手段もあるなか、なぜ救急センターを壊してまで病院の場所にこだわるのか、潮来市は何らかの意思表示をしても良い。今後どのようにするのか。

答 村田市民福祉部長

4月に行方市から、新庁舎について位置条例と基本設計予算



なめがた地域医療センター

※議場では出資金と議論しているが、正しくは負担金である。

が可決し、建設について協議を進めると説明を受けた。潮来市でも情報共有を受けながら、協議を進めていきたい。



よしかわ り い ち
吉川 利一

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

令和7年度潮来市PTA連絡協議会よりの 教育行政要望について

問 緊急性の高い優先順位の要望にどのように対応しているか。

答 吉川教育部長

各学校からの優先順位があるが、多額の予算が必要な要望もあるため、希望通りに実施することができない。危険な箇所の改善、安全の確保にかかわるものを優先的に実施していく。

問 各学校からの要望の除草、伐採、剪定等の外部委託への対応について

答 吉川教育部長

除草については、各学校において実施するのが基本で、学校の環境整備のご協力をお願いする。PTA保護者や教員では危険な箇所の伐採等については、事業者へ委託している。

問 通学路の安全確保についての対応は。

答 吉川教育部長

潮来市通学路安全推進会議を毎年開催し、危険箇所の解消に向けた取り組みを実施。

問 学校サポーターの導入について

答 吉川教育部長

再導入の予定はない。

問 各学校の要望に対する回答について

答 吉川教育部長

潮来小 給食配膳室のエアコンの設置については確認中、設置の検討。

延方小 保護者送迎用通路の舗装については今後整備を検討。

日の出小 プール跡地の整備、門扉の設置は危険性・優先度を踏まえ今後整備を検討。

潮来一中 正門前に街灯を設置は状況確認して検討。

潮来二中 特別教室、体育館、武道館にエアコンをは順次整備を進めている。

日の出中 防犯カメラの設置は今後整備を検討する。

フェンスの改修等の大規模工事については、すぐには実施できないが今後検討していく。

中庭のレンガ敷きの修繕については、検討する。

牛堀中 ウォーターサーバーの設置は令和6年に3台設置済

中学校の統合について「情報を共有したい」は、ホームページにて情報提供をしている。ま

た、児童・生徒、保護者宛てにお知らせ等を配布して周知している。

再問 台上戸地区通学路の道路

拡張工事の早期完了について

工事期間中に自転車通学の生徒が怪我をしている。斜面が崩れそうな状態があり通行止めになっているが、安全に通行できるのはいつか伺う。

答 濱野建設部長

残工事があり6月30日までであるが、6月9日に通行止めを解除している。

ロッテマリーナズ ファームの誘致について

問 経緯について伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

令和6年2月16日にロッテマリーナズよりファーム本拠地移転の候補地募集があり、潮来市として応募した。当初31の自治体から応募があり、企画提案書、プレゼンテーション、球団側との協議等の誘致活動をしてきた。最終選考の4つの自治体まで残ることができたが、令和7年3月25日に君津市に決定となった。

問 誘致場所の対象区域を伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

対象区域は非公表である。

問 誘致に費やした期間、予算、提示額、企画コンサルタントの費用、人件費、諸経費等を伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

費やした期間は応募から13ヶ月。予算、提示額は、提案内容に触れるため秘密保持契約に基づき答弁できない。

コンサルタント費用は、職員直営なので委託料などの費用はない。また、その人件費、諸経費については、算出根拠を示すのが難いため、答弁を控える。



質問者 崎 田 清



一般通告質問 気になるQ&A

「ローイングセンター前」道路の交通安全対策を急げ

問 防犯灯・道路標識等の対策検討は？

答 大川総務課長

令和8年9月1日に道路交
通法が改正になり、道路幅員
5.5メートル未満の道路かつ中
央線がない道路は、道路標識
がなくても最高速度が30キ
ロに制限されることになる。
よって、交通事故の抑制につ
ながるものと考えている。さ
らなる交通対策においては、
行方警察署と今後調査研究し
て参りたい。防犯灯について
は、現地を確認調査の上、既
設の防犯灯の状況もあるが、
現地調査した上で付けられる
間隔であれば増やしていきたい
と考えている。標識関係に
についても、行方警察署と協議
を継続して参りたい。

「大規模災害」の 防災対策強化を！

問 「災害用協力井戸」「感震
ブレーカー」の今後の取り組
みは？

答 榊原総務部長

大規模な災害時に水道が断
水した場合に、災害用協力井
戸は大変重要であると認識し
ている。潮来市においても、
先進自治体の取り組みを参考
にしながら調査研究をして参
りたいと考えている。感震ブ
レーカーは、災害時に電気機
器や電気関係の配線などが発
火する「電気火災」を防ぐに
当たって非常に有効であると
考えられている。火災予防運
動の一環として、さらに広報
活動等の強化を図って参る。
また、財政支援については、
全国での事例や、財源確保に
ついて研究を開始していく。

「ネーミングライツ」 (命名権)の取り組み推 進を！

問 自主財源確保のための今
後の取り組みは？

答 榊原総務部長

今後のネーミングライツの
取り組みは、関連のある企業
へ直接PR訪問させていただ
き、主要となる事業などを含
め、市の概要や施設の利用状
況などを説明し、施設に愛称
をつけていただけるようPR
訪問を予定している。

「粗大ごみ」の有効活 用を！

問 「シルバー人材センター」
の環境整備は？

答 沼田環境経済部長

潮来市粗大ごみリユース事業
の回収方法は、潮来市シルバ
ー人材センターが粗大ごみ回収事
業委託において回収したもの
と、潮来クリーンセンターに持
ち込まれたものを利用する2つ
のルートがある。対象の粗大ご
みは、主にたんすやサイドボー
ドなどの木製品家具、ケース、
かばんなどを修理し、リユース
を進めている。現在のところ木
製家具の修理を中心に行ってい
るが、程度のよいリユースに回

せるものが出てこな
い現状である。粗大
ごみリユース事業
の修理場所は潮来市
シルバー人材センターが入居し
ている農村高齢者センター内の
2部屋続きの畳の部屋を利用し
ているが、未修理品や修理済み
品、作業場を兼ねているため手
狭となっている。今後は、販売
のための展示場所の確保や修理
者増強による未修理品や修理済
み品の置場を確保する必要がある
ため、場所を探しているところ
である。



ひら た けんぞう
平田 健三

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

高齢者タクシー利用 料金助成事業について

問 本年度、助成券を24枚配布にした理由と助成券の有効期限を9月30日までにした理由は？

答 村田市民福祉部長

現在、潮来市では市全体の公共交通等について検討しており、上半期をめぐに潮来市地域公共交通活性化協議会において一定の方向性が示されるものと伺っているため。

問 高齢者タクシー利用料金助成事業の今後の方向性について

答 榊原総務部長

タクシー助成金の利用状況やアンケートの実施、さらに他市の事例調査研究を進めている。今後の方向性等については、潮来市地域公共交通活性化協議会において進められる。

再問 「助成券を回数券とし、鹿行広域路線バスにも利用できるようにする」この提案について伺う。

提案理由

タクシー以外の公共交通にも利用できる回数券にすれば、75歳以上の運転免許を持たない

方々にとって大きな利便性向上につながる。

方法

①1年間の助成券分43,200円を1枚2000円の回数券216枚とする。

②利用者の都合に合わせて利用したい分だけ自由に使えるようにする。

③回数券をタクシー、鹿行広域路線バスの両方に利用できるようにする。

期待される効果

外出意欲も高まり、タクシーと鹿行広域路線バスの両方を利用しての移動も増え、利用者の外出計画も立てやすくなる。

《議会・提示資料》

高齢者タクシー助成を高齢者公共交通助成に！

提案 高齢者タクシー助成券を回数券にする

提案理由

運転免許を持たない75歳以上の方の公共交通の利便性を高める

方法

①助成券 43,200円分
↓
2000円の回数券216枚
②回数券使用枚数自由
③タクシー・広域路線バス両方使用可能

効果

由、高齢者も一歩外に出る機会が増える。タクシー利用の利便性も向上する。また、タクシー利用の利便性も向上する。また、タクシー利用の利便性も向上する。

答 河瀬企画政策課長

利用者の実績を見ながら、タクシー助成券を回数券にする提案をしっかりと協議会の中でお諮りをさせていただき、6月末に行われる協議会にて、今後の方向性をしっかりと定めていく。

誰もが気持ちよく 使えるごみ集積所を 目指して

問 ごみ集積所へのごみ搬入のルールを再確認するための具体策は？

答 安藤環境課長

この4月からごみ袋の変更があった。それについては、現在ポスターの見直し等を含め、新たに見直しを進めている。でき上がり次第、ポスター配布もしくは各公民館に置く形をとりたい。

9か月後に迫った 潮来一中と牛堀中の 統合について

問 潮来一中と牛堀中の統合において、決定している内容は？

答 吉川教育部長

〈学生服や体操服、シューズについて潮来一中のものに統

一・牛堀中の生徒には潮来一中の体操服を一式支給・スクールバス停留所等の整備検討中・牛堀中の生徒についてはスクールバス利用のアンケートや申込みは完了・安全な通学路となるように国、県、市、警察などの関係機関への整備要望中・両校のPTA及び教育後援会で規約等のすり合わせ中である。

再問 スクールバスのバス停の決定は？

答 吉川教育部長

バスが止まる場所はある程度の広い安全な場所がなければならない。また、バス停の近くに駐輪場も必要である。そういうところも配慮しながらバスルート、バス停を決定していきたいと考えている。



質問者 志村 一



審議議案と議決結果／賛否が分かれた案件

議案ピックアップ

一般質問

委員会審査

視察研修・議員活動

一般通告質問 気になるQ&A

コミュニティバスの 本格運行について

問 実証運行の検証結果について伺う。

答 榊原総務部長

昨年12月1日から1月31日までの57日間、171便の運行で595人利用があった。

アンケート結果については、継続を希望する声を頂く一方、運行時間の延長や増便に関する意見、運行ルートにない経由地に関する要望、乗客定員数への不安等の意見を頂いた。

問 現在の広域2路線との比較、有効性について伺う。

答 榊原総務部長

広域路線バスの1便あたりの平均乗車数と比較では、コミュニティバスは3.48人、神宮あやめ白帆ラインは6.28人、鹿行北浦ラインが2.62人という結果であった。

再問 便数と運行時間の兼ね合い、何よりも運行期間が冬期であったこと、多忙な時期であったこと、さらに広域バスやJRとの乗り換え時間、医療機関の送迎バスと整合性があれば、かなりの利用が見込めるのではないかと、それらを踏まえ検討したいが如何か。

たこと、さらに広域バスやJRとの乗り換え時間、医療機関の送迎バスと整合性があれば、かなりの利用が見込めるのではないかと、それらを踏まえ検討したいが如何か。

答 河瀬企画政策課長

バス停やルートの設定など、限りある財源の中で今後どのようにすれば持続可能な公共交通で市民の皆様を守るか、楽しく出掛けて頂けるか検討して参る。

問 本格運行の計画内容と実施時期について伺う。

答 榊原総務部長

現段階では決まっていないが、今年度開催を予定している地域公共交通活性化協議会の中で、実証結果を踏まえた本格運行の実施の有無や既存の路線バスの整備、関連する事業者との調整など議論をしていく。

再問 できる限り市民の要望を組み入れながらタクシー券の併用を含めて検討すべきと考える

が如何か。

答 河瀬企画政策課長

既存の広域路線バスの整備、関連する事業者との調整、タクシー事業助成券の見直しも並行し、総合的に見ていく必要がある。協議会で議論を重ねて参る。

デイサービスセンター 白鳥の今後について

問 家族の負担と生活に重くのしかかっている課題にどのように対応していくのか伺う。

答 村田市民福祉部長

現在、施設再開を図るため、市内介護事業者に当該施設の事業運営等に関するアンケートを実施しているほか、県長寿福祉課へも情報などについて依頼をしている。

引き続き市内デイサービスセンターの受入状況や空き情報などについて把握に努めるほか、介護が必要な方やその家族が介護に関する相談や不安解消などが図れるよう地域包括支援センター、高齢者総合相談センター

水田の給水用蛇口バ ルブの盗難について

問 近年の盗難被害件数及び要因と対策を伺う。

答 沼田環境部長

土地改良区に確認した中で、土地改良区としてもすべて把握はしていないが、令和3年度238個、4年度80個、5年度39個、6年度44個、今年度は97個の盗難が発生していると聞いている。要因としては、金属価格の高騰と買い取り手側もあるため、各土地改良区や警察と連携していく。



くろす としゆき
黒須 俊行

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

来年には東関東自動車道路の開通が見込まれている

問 (仮称)麻生インター周辺開発に向けた進展状況を伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

参入企業の調査では、新規参入に直接結びつく有力な回答は得られなかった。地域未来投資促進法の重点促進区域の設定は要件を満たすことができない。今後は農村産業法の活用についてを県と協議していく。

潮来インター周辺開発を問う

問 説明では、基本構想のスポーツ関連の建屋だけでも約90億円の整備費。千葉ロッテ誘致は、市の本気度が試されている。見解を問う。

答 榊原総務部長

企業誘致等のプロジェクトを進めるには、一定程度の行政支出が伴う。大きな事業は慎重に見極めながら取り組み、進めていく。

再問 プロジェクトを進めるには、財政支出、土地購入の交渉、さらに優良農地開発には法

的条件など様々な課題をクリアしなければならない。「計画しなければ何もできない。」と市長。あらためて潮来IC開発プロジェクトに対する思いを問う。

答 原市長

インター周辺開発には様々な課題がある。それでも諦めずに挑戦し、推し進めたい。成田空港、茨城空港、鹿島港もある。潮来のポテンシャルを活かすためにも国、県、そして職員一丸となって推し進める。

令和7年度の緊縮予算、各課の工事請負費の著しい削減は地元関連企業にとって死活問題

問 その対応を問う。

答 榊原総務部長

令和7年度は、財政調整基金の枯渇危機、財政健全化比率の悪化から大幅な歳出削減を行う中で、特に普通建設事業の削減を顕著にした。しかし、昨年度の繰越予算を加えると一定の水準である。

再問 繰越予算は、昨年度に発注し、主は前川運動公園の繰越額。今年度の新規予算は無いも

等しい。各地区の区長から道路整備など多くの要望がある。物価高騰で疲弊している地元企業への対応を問う。

答 下河財政課長

工事関連事業は、上下水道工事、国、県事業及び民間事業もある。今回の影響は限定的である。

再々問 「例年、年度当初には、入札の発注がある。今年は未だない。」と市内業者からは不安の声がある。市の認識は!!

答 榊原総務部長

先日、建設業組合の皆さんと会ったが、直接的には聞いてない。質問と同様の声は受け止めたい。

問 低迷する地域経済。地域経済対策臨時交付金を活用した民間事業者の鹿行5市の比較と支援を問う。

答 村田市民福祉部長

令和6年度民間幼児施設への支援は、鹿嶋市、鉾田市、行方市が給食食料費補助、鉾田市はさらに電気代等の補助を行っている。本市は茨城県が同様の補助の見込みがあるため行わない。

再問 当交付金は、民間ベース

支援が基本である。潮来市商工会では2年間で70以上の事業者が退会している。コロナ後の影響や物価高騰で潮来の経済は低迷している。賑わいのある町を取り戻すために計画的な交付金の活用を!!

答 榊原総務部長

本来の交付金の趣旨を踏まえて、市民生活の支えになる様に活用していく。

問 令和7年度の緊縮財政の要因を問う!!

答 榊原総務部長

総合計画の遂行及び行政要望に応えるため、慢性的な財政調整基金の取崩しなど歳出重視があった。今後は財政調整基金を一定規模の維持、そして身の丈に合った運営と財政健全化を目指す。



質問者 いした ゆうじ 石田 裕二



一般通告質問 気になるQ&A

自ら稼ぐ自治体について

問 潮来市はどう捉えているか。

答 榊原総務部長

人口減少、少子高齢化さらには社会経済情勢の変化の中、税収の減少、社会保障関係費の増加が見込まれている。新たな財源の確保は重要である。

問 自主財源の確保の具体的取り組みは？

答 榊原総務部長

ふるさと納税・企業版ふるさと納税の強化、ネーミングライツ事業の開始。また国・県の補助金の積極的活用や国の特別交付税措置のある制度を活用し、市の実質的な負担の抑制に努めている。

問 ネーミングライツ事業は市民やパートナーとなられる方に周知や認知がなされていない。待つのではなくこちらから仕掛ける営業的な目線が必要では？

答 河瀬企画政策課長

事業そのものの周知に留まらず、相手方となられる企業様に見合う効果や魅力をお示ししアプローチしていく。

問 国の制度利用について実績はあるのか。

答 榊原総務部長

公募型の補助金、交付金であり、自ら企画申請するもの。すべての自治体が活用できるわけではないが、潮来市は地方創生交付金、第2世代交付金を勝ち取った。

問 今後は新たな財源確保に果敢に挑戦する自治体と旧態依然の自治体の二極化される。市の目指すものは？

答 榊原総務部長

自ら稼ぐ自治体の観点からは、地域全体が稼ぐ力を大きくし、また地域の中で経済循環を高めていくまちづくりを目指すべく、積極的に財源の確保に挑戦して参りたい。

文化・観光政策について

問 地域のお祭りや伝統文化を守り、次世代へ継承することは重要な課題のひとつである。「文化」を守る延長線上に「観光」がある。

潮来祇園祭禮の「山車まつり」を市の文化財に指定すべき

であるがその道のりは？

答 吉川教育部長

文化財保護条例の内容に合致すれば申請は可能。その後、文化財保護審議会にて審査、それに基づき教育委員会が指定する運び。課題として申請主体となる団体の確定と根拠となる資料等の収集があげられる。

問 茨城県教育委員会は「茨城のおまつり」として潮来祇園祭禮を選定している。

これを機に市民と一体となって文化財指定を目指したい。市の協体制度は？

答 大崎生涯学習課長

申請や各種関係資料についてぜひ教育委員会にご相談いただきたい。

問 『嫁入り舟』についても後世に残すべき文化財であるが如何か。

答 吉川教育部長

県の文化課に参考意見を求めたところ、昭和時代であり歴史的に新しい、同様なものの指定がないとの回答を受け、今後どのようにすれば指定を受けられるか調査研究を行いたい。



いいじま 飯島 康弘

質問者



問 嫁入り舟は単なるイベントではなく、水郷地域の伝統文化、風習である！日本で唯一、世界で唯一のものである！！地域の「おまつり」も「嫁入り舟」も今はできていても守らなければなくなってしまう。地域の伝統や文化は今からつくるものではなく、今あるものを残すことである。やがてその文化が観光になる。見解は？

答 塙教育長

潮来市としても本当に守っていかねばならないものである。教育委員会また観光商工課とも連携し、今後の文化財の指定についてしっかりと協議し進めて参りたい。

一般通告質問 気になるQ&A

学校統合における支援体制について

問 来年度に津知小学校と潮来小学校、牛堀中学校と潮来第一中学校の統合が予定されており、さらに令和11年度には市内中学校の1校化も計画されている。

教育委員会における統合に関する担当体制はどのようなになっているか。

答 吉川教育部長

教育部長の下に課長補佐1名、部会担当職員4名の計6名で対応している。学用品、スクールバス、施設、通学路などを各部会で分担し、効率的に統合準備を進めている。

問 統合による心理的・教育的な負担に対応するため、加配教員の配置はあるか。

答 吉川教育部長

加配は原則2年間であり、令和7年度は潮来小および牛堀中に各1名を配置している。令和8年度についても申請を予定している。

問 統合後の児童・保護者を継続的に支援する担当者の配置はあるか。

答 吉川教育部長

専任配置は予定していないが、学校教育課全体で支援体制を整え、相談対応などを行っていく。

問 文部科学省の手引に示されているような統合に伴う課題への対応方針はどうか。

答 塙教育長

第2期適正化計画の策定時に手引を参考にしており、スクールのバスによる体力低下や放課後の居場所の確保など、懸念される課題については学校や準備委員会と連携しながら丁寧に対応していく。

地域協働のまちづくりについて

人口減少や少子高齢化が進む中、行政単独での住民サービス提供には限界があり、今後は、市民や団体、事業者と連携しながら進めていく共創型のまちづくりが不可欠である。

問 高校生による政策提言が行われている潮来まちづくりシンポジウムは、若者の声を市政に反映する意義ある取組であり、今後も継続・発展させるべきである。これまでの高校生の提案

は、市の施策にどのように活用されているか。

答 榎原総務部長

高校生の提案のうち、スイセンなど季節の花を植える案や、ドッグランのPR改善案が実際の施策に反映されている。また、スタンプラリーなども既存事業と合致しており、行政の取組の後押しとなっている。フィードバックとしては、当日の評価やアンケートのほか、高校・大学・市による振り返り協議を行っている。

問 市民提案を予算に反映させる共創型予算制度を創設してはどうか。

答 榎原総務部長

共創型予算制度はまだ実施事例が少なく、制度の検証が必要である。一方で、市民が予算編成に関わることで新たな発想や価値が生まれる手法として期待されており、今後は先進事例の検証と研究を進めて参りたい。

再問 市の財源負担を抑えつつ市民活動を支援する仕組みとして、ふるさと納税を活用した共創予算枠の創設についての考えはあるか。

答 榎原総務部長

有意義な提案であると受け止めており、公益性や公平性の観点も踏まえたうえで、調査・検討していきたい。

問 地域住民の声を政策に反映するだけでなく、その実行過程にも市民が主体的に関わる仕組みが、地域の自立性や愛着を高めると考えるが、市の見解を問う。

答 榎原総務部長

住民の声を政策に反映し、実行にも主体的に関われる仕組みが地域の自立性を高めると認識している。行政と住民が協働することで、地域のつながりや持続的な発展が期待されるため、今後も意見を聞きながらまちづくりに取り組んで参りたい。



質問者 和田 直子



一般通告質問 気になるQ&A

廃止になってしまった敬老会補助金事業

問 この事業の目的は？

答 村田市民福祉部長

多年にわたり社会に貢献いただいた高齢者への敬意を表し、地域（自治会）が一体となり開催する敬老会事業に対し、補助金を交付することにより高齢者への敬老と福祉の向上に寄与することを目的として実施していた。

問 昨年度、事業実施後に各区長からとったアンケートの集計結果は？

答 村田市民福祉部長

66区中60地区から回答をいただき、実施↓40地区、未実施↓17地区、開催予定↓3地区であった。

再問 アンケートをとった。6割の自治会が実施した。その結果を基に廃止した。次年度の事業についてアンケート協力をしていた区長に廃止の相談をしたのか伺う。

答 大川高齢福祉課長

最終的には代表区長にご相談をさせていただいた。各区で状況が異なるということで、市で

判断をしたほうがよいだろうとお話をいただき今回の見直しに至った。

問 新年度の区長会総会において、事業廃止の説明をしたか伺う。また、区長の反応を伺う。

答 村田市民福祉部長

総会時に説明をさせていただいた。区長からは「初めて聞いたよ」「今までやってきたのになんて説明すればいいのか」という意見をいただいた。

中学校の部活動について

問 7月26・27日に第45回全日本中学校選手権競漕大会が本市で開催されるが、今年度の日の出中ボート部と潮来高校ボート部の新入部員数を伺う。

答 吉川教育部長

日の出中ボート部 3名
潮来高校ボート部 3名

再問 今回の大会準備に多くの皆様のご尽力いただいているので成功に終わる。その4年後、4年に1度回ってくる。子ども達の部活に対する考え方や地域移行も含めて変わってきている。中学生の部員がいて初めて

成り立つ大会であり、足元を見て大会を考えていく必要があると思うが市の見解を伺う。

答 原市長

佐々木議員とは、考え方が少し違うが、この誘致をすることによって、潮来市にも泊まっていただけ。潮来市の色々な良い所を全国の方々に見ていただく、そして経済効果がある。こういった大会を連続的に開けるような潮来市のボート場にしていきたい、そういった思いで大会を誘致しているので、中学生の部活動の人数が少ないとか多いとか、そういった視点ではないので、ご理解を賜りたい。

日の出の交通事故多発交差点の安全対策について

問 日の出中から十番ポンプ場へ向かう交差点において、直近で2件、車同士の出合頭の衝突事故が発生。その内1件は子ども達の帰宅時間帯15時過ぎであった。今後の対策について伺う。

答 濱野建設部長

市では安全対策として、カラー舗装や路面標示を行うなど注意喚起を行ってきた。しかし

ながら事故が頻発していることから、今後どのような交差点の安全対策がよいのか、関係機関と協議し調査研究していく。

再問 先般、松田県議会議員に信号機設置について説明をさせていただき、すぐに行方警察署へ要望をしたところであるが、市としても様々な方向から子ども達の通学路でもある交差点の安全確保を進めていただきたいが如何か。

答 榊原総務部長

市民の声をよく聞き、必要に応じて適宜、関係機関へつないで参りたい。また関連している団体の皆様とも連携をしながら進めて参りたい。



ささきとおる 佐々木 徹

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

令和7年2月4日に起きた潮来クリーンセンター火災のその後について

問 被害金額と保険金は？財源はどうするのか？

答 沼田環境経済部長

4月に現場確認が済み復旧金額及び復旧方法の提出待ち。過疎債や重点事業など幾つかある起債で率の良いものを充てていく。

問 ひたちなかの市の民間業者へごみ処理を委託されていたが5月末までに幾ら支払ったか伺う。

答 沼田環境経済部長

赤コンテナの不燃ごみと事業系不燃物で78万5千円、小型廃家電が58万2千円で合計84万7千円。

問 今後、新たな施設を建設するのか、搬入できる他の施設と提携するのか？

答 沼田環境経済部長

新設については比較検討の上の判断になる。搬入については民間処理施設や相互支援協定を締結している鹿行各自治体になる。いずれにしてもクリーンセンター搬入前の分別をしっかりとやる。

再問 人口減も進み広域でごみ処理施設は潮来・行方市で作るしかないのでは？

答 原市長

正式表明はできないが、色々な市町村と交渉事をしている。しっかりと議論した上で最終決定をしたい。

(仮称)潮来市総合運動公園あり方検討業務委託について

問 事業目的とその業務内容について伺う。

答 酒井企業立地戦略室長

今後、都市公園整備に係る基本計画策定等に進む事を予定している中で、地域連携協定における都市公園ゾーンに必要な機能や規模及びゾーニング等を検討する事を目的とする。業務内容については公園整備、運営の事例調査をはじめ施設利用の需要調査、市民ワークショップの開催、導入機能及びゾーニングの検討、イメージ図の作成、事業スケジュール等の検討を行う。上で検討結果の取りまとめを行う事を予定している。

再問 計画の中に屋内運動場(5,000席のアリーナ、10,000㎡の敷地、サブア

アリーナ、会議室、トレーニング室、多目的室)の計画があるが84億という予算では無理があるのではないかと？

答 酒井企業立地戦略室長

基本計画や基本設計を踏まえた上で積算するというのが今後の課題となる。現段階では目安として捉えて頂きたい。

水郷いたこ大使ゆるキャラの「あやめ」について

問 昨年度から本年度にかけて「あやめ」の出番は？また活躍の場は？

答 榊原総務部長

市役所の各部署においてチラシ及びポスター、クリアファイル等に使用。LINE、Xにも使用、シン・いばらきメシ総選挙2024、アントラーズ開幕戦、水郷潮来あやめ祭りの計3回出演している。しかし、コロナ禍の影響で出番が減少し、さらに熱中症の懸念もあることから、現在は出演の機会が限られている。

あやめ3市の連携について

問 潮来市・香取市・佐倉市・ホテル日航成田の連携事業であ

るスタンプリリーについて伺う。

答 沼田環境経済部長

5月31日時点で475名が参加。ホテルへの食材は米粉麺フォール、まこもパウダー、潮来市産コシヒカリを定期的に納品。さらに小倉あんや米粉、もち米も追加され想定以上の効果があった。

問 あやめ園とあやめパークを結ぶシャトル船の運営について伺う。

答 沼田環境経済部長

運営は水郷佐原観光協会に託しあやめまつり期間の5月24日から6月22日までの土日に1時間おきに潮来市側6便、香取市側7便運航する。6月8日までに22名の乗船があった。



質問者 おぬま 小沼 ひであき 英明



審議議案と議決結果／賛否が分かれた案件

議案ピックアップ

一般質問

委員会審査

視察研修・議員活動

潮来市の観光活性化について

問 あやめ橋たもとの土地を購入して観光に力を入れようとしているが、どの様に開発を進めて行くのか伺う。

答 榊原総務部長

あやめ橋周辺用地については、日本一の水路のまち基本計画においても、周遊ネットワークの確保や回遊性の向上を課題としている。これまでも街中周遊の玄関口として、河川管理者である茨城県に河川管理用道路の整備促進についてお願いをしてきた。今回、茨城県と本市が連携して、あやめ橋周辺用地の用地買収が完了したことから、今年度は県が管理用通路の整備に取り組んでいく。潮来市として日本一の水路のまち基本計画に基づき、県と連携し役割分担しながら、水郷にふさわしいように進めていく。潮来の観光の歴史は誇るべき大事な私たちの宝物と考えているので、これまでの先人達がここまで築き上げ

てくれたものを、将来に向けてどのように発展させていくのか、きちんと観光客、そして市民に誇れるような、水郷あやめ園にふさわしい施設や使い方を、市民の方々とともに考えているところである。

問 水郷潮来あやめ、藤、郷土の伝統潮来祇園祭禮を強く広めていく、市の考えを伺う。

答 沼田環境経済部長

潮来祇園祭禮を含めた伝統芸能は、地域の文化や歴史を伝えるとともに、観光資源として魅力あるものと認識している。引き続き、藤、あやめ、紫陽花などの植物の観光資源と、「ろ舟」や「嫁入り舟」、祇園祭禮などの伝統文化資源、長勝寺などの歴史的資源をつなぎ、通年型観光を目指しながら、より一層、魅力向上に取り組みたいと考えている。

問 地域の伝統を広める為に祭り会館を作り潮来を活性化することを伺う。

答 榊原総務部長

令和6年第4回定例会における一般通告質問の際にも、お答えをしており、繰り返しとなるが、新たにお祭り会館を整備する事は、現段階では考えていない。しかしながら、潮来祇園祭禮や市内全域のお祭りについては、地域文化や伝統を象徴する重要な行事である為、地域の皆様が長年にわたって大切にしてきた伝統である。市としても地域の魅力であり、今後より一層、お祭りの魅力を高められるように、観光協会や商工会などと連携を図りながら、地域活性化に取り組んでいく。

**市道(潮)1級1号線
古高の三差路から潮来
カントリー倶楽部入口
までの歩道上の街路樹
について**

問 市道(潮)1級1号線古高の三差路から潮来カントリー倶楽部入口までの歩道上の街路樹について伺う。

答 濱野建設部長

市道(潮)1級1号線は、平成初期にゴルフ場の造成に併せて、歩道も整備され約630mの区間に65本の街路樹が植えられている。この区間にある樹木については、市道と併せて潮来市が管理し、樹木の伐採や剪定についても潮来市が実施している。議員が言うとおり、木が大きく育ち、木の根が歩道上のアスファルト舗装を盛り上げているが、木の根を排除するには道路の掘削を伴う工事が必要となり、非常に困難な状況にある。したがって、歩道の修繕を行うには、街路樹を根から掘り起こして撤去するといった大規模な工事を伴うので、関係各所と協議の上、調査研究していく。



ときたまさのぶ
田 正信

質問者



一般通告質問 気になるQ&A

日の出5丁目危険交差点の早急な改善について

問 交差点のセンターに埋めてある赤い点滅ランプが見づらい、対応は？

答 濱野建設部長

現場を確認したところ、点滅ランプが見えづらい。早急に修繕をしたい。

問 以前、原市長が警察署に信号設置の要望をしてくれた。日の出小中から対策要望書が出ている。市として危険な交差点の状況をどう改善するか？

答 濱野建設部長

市ではカラー舗装、横断歩道、停止線、交差点注意の路面表示を行ってきた。今後、関係機関と協議し調査研究していく。

問 通学路であり日の出の方も散歩で通る。対策はしているがそれでも事故が起る。どのように今後対応するか？

答 原市長

今一度、警察に要望活動をさせていただく。本当に死亡事故が発生する可能性が高い。信号がつけられなければ、違う形で規制をかける対策をしていた

堤防決壊！その時に安全に避難出来るのか？

問 市防災マップで、米島付近が決壊した場合延方、日の出、潮来駅前付近が浸水する。その人口は約9,000人。全員避難時に要支援者の方や高齢者の方が、本当に避難できるのか？

答 榊原総務部長

事前行動計画に沿って確認し関係機関と連携、市民への情報伝達をする。災害対策本部で避難所を決定し避難所への誘導を自主防災組織、民生委員児童委員、消防団で行う。

問 現時点ではどこに避難して良いか分からない。高台の避難所を最初から決めておけば？

答 大川総務課長

高台への避難は有効。指定避難所が開設されるまでは避難する準備をしていたき、開設され次第、避難するように周知徹底していく。

問 防災の活動で大事な消防団の存続はどのように考えているか？

答 大川総務課長

消防団員の確保対策は、各区

において非常に苦勞している。現状では特効薬のない状況。各区の声を聞きながら、今後も地道に取り組んでいく。

問 団員の勧誘は難しい。そこで小中高校の時から消防団の大切さを伝えて、市民の皆さんに役立っ大きな活動をしている団体だということを伝えては？

答 大川総務課長

地元での消防団活動が大事だということをし少しでも関心を持ってもらえるよう、今後も引き続き若い人達に伝えて参りたい。

問 現時点では、避難先の駐車スペースは不足なので民間に頼るしかない。災害はいつ起こるか分からない。民間の方々にスペースを貸してくださいというのには伝えてあるか？

答 大川総務課長

現在、お借りしているという状況ではない。今後指定避難所の周りを調査・研究して参りたい。

地域おこし協力隊で移動スーパードをやっては？

問 他の自治体で地域おこし協力隊の移動スーパードの実績はある。買物弱者は増えるなか、他

の自治体でできたなら、潮来市でもできるはずでは？

答 河瀬企画政策課長

参考の自治体事例があるので、今後募集の際には参考にさせていただいて、潮来市の地域に合わせた募集の仕方、隊員の持つビジョンに潮来市も寄り添うような形で募集につなげていきたい。

問 移動スーパードは採算が取りづらく定住に進まない。市も事業として移動スーパードを経営している方に補助するぐらいの気持ちで進んでいかなければ？

答 榊原総務部長

地域おこし協力隊の方々のビジョン、そして我々としての思い、そういったものがきちんと結びつくシステムづくりについてさらに研究を進めていきたい。



質問者 阿部 けいすけ 慶介



審議議案と議決結果／賛否が分かれた案件

議案ピックアップ

一般質問

委員会審査

視察研修・議員活動

一般通告質問 気になるQ&A

不妊治療助成事業の復活について

問 茨城県の令和7年度不妊治療費助成事業（新規）について

答 村田市民福祉部長

医療保険適用の生殖補助医療と併せて行う先進医療の費用で、市町村が実施する助成事業に対し、1件あたり上限4万円（県と市町村が2分の1ずつ）を助成。

問 潮来市民は利用できるのか？

答 石川かずみ保健福祉センター長

現時点で不妊治療助成事業を実施していないため、この事業の対象外である。

問 物価高騰に考慮した経済的支援について

答 村田市民福祉部長

物価高騰が市民生活に与える影響は大きく、不妊治療による経済的負担は認識している。保険適用後も自己負担が発生しており、市としてどこまで支援できるか検討していく必要があると考えている。

問 不妊治療助成事業復活について

答 村田市民福祉部長

県の事業が今年度限りであっても、次年度以降も市として人口減少対策を推進するため、不妊治療助成事業の再開を前向きに検討していく。

土手や堤防の草刈り後の残渣について

問 刈り残渣が放置される原因について

答 濱野建設部長

国が管理する常陸利根川では、草刈り後の刈草をたい肥や畜産に活用していたが、近年は有効な活用方法がなく、処分するための費用の増加が集草・運搬を行わなくなった一因となっている。

県が管理する前川、稲井川、夜越川の3河川は、草刈り後に集草・運搬を実施している。

再問 この原因は国が解決しないと進まないのか？

答 濱野建設部長

運搬については、それぞれの地方整備局や国の下で今模索・検証している。その過程でも、集草、運搬を実施していただくよう要望していく。

潮来市の教育環境の未来について

問 統合場所が決定していない現状を、市は教育環境整備における最大の懸念事項と認識しているか？

答 吉川教育部長

統合場所の決定は最大の懸念事項、令和7年度中に最終決定を目指す、7月～8月頃に候補地（一中、二中、日の出中）の詳細な現地視察を行い、9月～10月を目途に内容を取りまとめ、最終的に教育委員会が決定する。

問 潮来市唯一の中学校とするからには、充実した教育環境を保障し、目指す学校の姿は。

答 塙教育長

潮来市教育委員会は、児童・生徒数減少を受け、教育の質の向上を目指し一校化を進め、教育環境を保障する責任がある。市唯一の中学校として、教育目標を基盤に、確かな学力、豊かな心、健康・体力を培う。創意工夫を凝らした教育課程、教員研修の充実、グローバル化に対応した英語教育にも注力し、地域に愛され信頼される学校を目指すし、家庭・地域連携や通学環



かねひら 直紀
兼平

質問者



境・安全対策、いじめ・不登校対策にも丁寧に取り組む。これは、子どもたちが地域で誇りを持って学ぶための未来への投資である。ご理解ご協力をお願いしたい。

答 原市長

中学校の一校化は地域にとって精神的な負担が大きい事業と理解している。より良い教育環境を確保するために先送りできない喫緊の課題である。校舎の新築が困難な財政状況を踏まえ、既存の財産を最大限に活用し、教育環境を第一に考える。さらに、市内の公共施設全体についても考えなければならぬ時期にきている。市は地域や関係機関と連携し、「統合してよかった」と思える学校づくりを目指す。



委員会審査

6月17～18日に開催した委員会の審議結果を議会最終日に各委員長が報告しました

教育福祉経済委員会

付託された案件：補正予算 1 件
請 願 1 件

主な質疑

令和7年度潮来市一般会計補正予算(第1号)
〔所管科目〕

問 歳入 国庫支出金 国庫補助金
教育費国庫補助金 教育費国庫補助金
教育支援体制整備事業費補助金 59万5千円
不登校対応、アウトリーチの補正であるが、
何のための補正か。

答 教育支援センター事業で、2本立てで計上している。1点目が不登校未然防止、保護者相談支援体制である。もう一点が、不登校者相談支援体制事業で、歳出は、教育支援センター・のびのびルームの教育相談員の人件費及びのびのびルームの教育相談の電話相談、学校での相談である。以上の相談支援体制に対する歳入である。

再問 教育支援センター相談員の人件費にあてるということは、活動時間が増えるのか伺う。

答 今いる相談員の人件費、アウトリーチは、家庭訪問であったり、オンラインであったり、こちらから出向いていく方法、手を伸ばしていく方法である。

所管に関する質問

問 コミュニティスクールの進捗状況について伺う。活動の活発な状況や成功事例はあるか。

答 活動は令和6年度、協議会単位(6地区)で進めている。各協議会とも時間をオーバーするなど、多くの意見が出され、活発な議論が交わされていた。今年度は津知地区でスタートしている。その他の地区でも、熱心な議論が行われ、子ども達に何ができるのか話し合いを進めている。

問 クリーンセンターの修繕見積もりが出ていない。時期はいつ頃になるのか伺う。

答 まだ金額がでていない状況である。どのように進んでいるか分かり次第、火災事故調査委員会を設置し協議してから報告する。

総務建設委員会

付託された案件：承認 2 件
条例改正 1 件
補正予算 1 件
発 議 2 件

主な質疑

専決処分事項の承認を求めることについて
(潮来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

問 市民生活への影響について伺う。

答 軽減がかかる方に対して、控除額を増加させる改正となるため、5割軽減2割軽減の方が増える。そのため、国民健康保険税額が多少下がる方がいる可能性がある。

潮来市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

問 ニュースで、隣り町の同姓同名の方から間違って税金を取っていたということがあったが、今回のものと関係があるのか伺う。

答 今回の条例は、より精度を上げるものであるため、そのようなことはなくなるものと考えている。

所管に関する質問

問 水原の田の森浄水場に水を引き入れていたときの取水口やポンプ場の建物は今後どうするのか。

答 令和5年度より県水を全量受水しているので、浄水設備は使用停止している。国の占用物件であるので、国と調整して撤去の方向で進めている。

再問 浄水場の沈殿する施設の土地所有者を伺う。

答 水道事業用地になるので潮来市である。

再問 再利用はできないのか。

答 現時点で、優先的に施設の撤去をしなくてはならないと考えている。費用もかかるため、時期は決まっていない。そのため、今後についての方針は明確になっていない。

審議議案と議決結果
賛否が分かれた案件

議案ピックアップ

一般質問

委員会審査

視察研修・議員活動

茨城県東市議会議長会定例会 in ITAKO



令和7年4月4日、神栖市、行方市、鹿嶋市、鉾田市、小美玉市、潮来市の各市議会議長および議会事務局長が一堂に会し、潮来市役所において定例会が開催されました。
定例会終了後には、視察研修として愛友酒造を訪問し、酒蔵見学を実施しました。
その後の情報交換会では、活発な意見交換が行われ、今後の円滑な議会運営や地域連携の強化に向け、有意義な交流が図られました。

功労者表彰



左から小峰議長、小沼議員

小沼 英明 議員が、茨城県市議会議長会より表彰規定に基づく20年表彰、および全国市議会議長会より21年特別表彰を受賞されました。
この表彰は、長きにわたり市政の発展に尽くされた議員に贈られるものです。
おめでとうございます。

潮来市こども議会を開催します

潮来市議会では、市内の中学生が議員役となって市政について意見や提案を行う「こども議会」を開催します。

市内の各中学校から選出された16名のこども議員が、市政に関するさまざまなテーマで一般質問を行い、自分たちの声を市に届けます。
こども議員の勇姿をぜひご覧ください。

※傍聴席には限りがございます。生配信でもご覧いただけますのでぜひご利用ください。

令和7年8月8日(金)

午前11時 開会

潮来市役所 3F 議場



潮来市議会
インターネット中継



視察研修・議員活動

✓ 広報編集委員会視察研修

- 視 察 先 鹿嶋市議会広報広聴委員会
- 実 施 日 令和7年4月23日（水）
- 内 容 より良い議会広報を目指し、鹿嶋市議会広報広聴委員会を訪問し、広報の取り組みや改革事例、編集方針、紙面構成の工夫や住民への情報発信の取り組み方について説明を受けました。鹿嶋市議会では、「広聴」にも力を入れており、特集記事を掲載し、市民の声が取り入れられていました。活発な意見交換を行い貴重な学びの機会となりました。今後の広報作成に活かして参ります。



✓ 総務建設委員会現場視察

- 視察場所 （仮称）麻生 I C 東関東自動車道水戸線（潮来～鉾田）
- 実 施 日 令和7年5月21日（水）
- 内 容 国土交通省によって進められている東関東自動車道水戸線の現場視察を行いました。関係者の方々から工期や進捗状況、今後の整備計画、安全対策について説明を受けました。現地では、ドローンを使った地形測量が導入されており、正確な地形データを基に掘削作業が効率よく進められていました。工事にあたっては、地域住民への影響に十分配慮した事業の進め方や、完成後に期待される利便性向上について理解を深めました。工事は、令和8年度全線開通に向けて計画通り進捗しており、今後も安全第一で着実に進められていく予定です。



✓ ゲートパーク花植え

- 場 所 潮来 I C 付近ゲートパーク
- 実 施 日 令和7年5月27日（火）
- 内 容 季節の草花（ポチュラカ・キバナコスモス）の花植え作業を実施しました。潮来市にお越しなるお客様に気持ちよくお過ご



しいただけるよう、心を込めて作業を行いました。色鮮やかな花々が皆様をお迎えします。潮来のまち歩きと一緒に花の彩りも是非お楽しみください。



潮来市議会だより「みらい」No.199
発行日：令和7年7月24日

■発行責任者：議会議員 小峰 進 ■〒311-2493 茨城県潮来市社626 ■gikai@city.itako.lg.jp
■編集者：広報編集委員会 ■TEL 0299-63-1111 ■FAX 0299-77-9823



NEXT

次の定例会は

9月2日

開会予定

会期日程は、ホームページをご覧ください。

傍聴してみませんか？

市議会では、市民のみなさんの生活に直結した重要な問題が審議されています。

議員の活動状況や市政の内容を知るためにも、ぜひお越しください。

開催日当日、2階総務課で受付しています。

※基本的な感染症対策にご協力をお願いいたします。

動画でみる！ 市議会

あなたの住むまちで何が話し合われているのか、気になりますか？ 会議の様子をライブ配信（生中継）・録画配信しています。スマートフォンやタブレットからもご視聴いただけます。ホームページからアクセスしてください。



▲動画サイト




今を担う私たちのために
未来を担う子どもたちのために

Public Relations

パブリックリレーションズ

本来の意味は
公共の・公衆の良好な
関係づくり・結びつき

親しまれる議会だよりをめざし「みらい」
の紙面づくりに取り組んでまいります。

議会を読もう

議会だよりは、年4回定例会（3月、6月、9月、12月）後の4月、7月、10月、1月に発行します。

各区で配布されたり、市内のコンビニ、銀行、公共施設（図書館や公民館）にもございますので、ぜひご覧ください。

表紙の説明

全日本中学選手権競漕大会に向けた練習の様子（潮来一中・日の出中ボート部）

7月25～27日に潮来市で開催される第45回全日本中学選手権競漕大会に向け、潮来一中と日の出中のボート部が一丸となり練習に励んでいます。地域の皆さまの温かい声援が選手の大きな力となりますので、応援よろしくお願いします!!

議会広報 編集委員会



委員長		副委員長		委員	
和田 直子	吉川 利一	黒須 俊行	鵜田 正信	志村 一	兼平 直紀

あやめまつりが華やかに開催される中、6月議会が開かれました。議員各位は精力的に研修や視察をこなす、市政に対する活発な質問が多数交わされ、潮来市のさらなる発展に向けた真摯な姿勢が伺える議会となりました。

私たち議会広報編集委員会は、議会での議論や決定事項を、より正確に、そして透明性を持って市民の皆様にお届けすることを目指しています。市民の皆様は市政への理解を深めていただき、安心して暮らせる潮来市を共に築いていけるよう、これからも分かりやすい情報発信に努めて参ります。

これから本格的な暑さを迎えますので、市民の皆様におかれましては、体調管理には十分ご留意ください。

広報編集委員 兼平 直紀

編集後記
.....

UD FONT

市議会HP

